

# 小牧連携だより



## ◆連携ニュース◆

地域連携の新たな取り組み	P 2
生殖医療センターの新設	P 3
地域連携意見交換会の発展的解消	P 4
地域連携登録医総会	P 5

## ◆認定看護師紹介◆

救急看護認定看護師	P 6
-----------	-----

## ◆今後の予定◆

委員会・勉強会のご案内	P 7
-------------	-----

## ◆裏表紙◆

お問い合わせ先一覧	P 8
-----------	-----

### 【患者支援センター 業務内容】

1. 地域の医療機関との連携に関すること
2. 入退院支援に関すること
3. 医療サービスの向上に関すること
4. がん相談支援に関すること
5. 医療福祉相談に関すること
6. その他（地域連携関連業務全般）

### 【受付時間】

平日 午前8時30分～午後7時  
土曜 午前9時～午後0時

電話 0568-76-1434  
FAX 0568-74-4516



**Komaki**

## ■ 地域連携の新たな取り組み

### 緊急紹介専用ダイヤルの新設

“緊急で患者さんをご紹介いただく際に電話が繋がりにくい”とのご意見を受け、9月より「緊急紹介専用ダイヤル」の運用を開始いたしました。専用ダイヤルにいただいたお電話は、患者支援センターの職員が速やかに各診療科の担当医へお繋ぎいたします。

#### ■ 緊急紹介専用ダイヤル（24時間対応）

**0568-76-4148**

#### ■ FAX

● 平日 午前8時30分～午後7時      土曜日 午前9時～午後0時

① 0568-74-4516

② 0568-71-0037

● 上記以外の時間（夜間・休日）

0568-76-5000

※紹介患者さんのご予約につきましては、従来どおり患者支援センターの直通電話番号にご連絡ください。

### 地域包括ケアシステムの推進

地域包括ケアシステムでは、地域の医療機関がそれぞれの特性を活かして役割を分担し、地域全体で患者さんを診ていくことが求められています。

地域の医療機関が協力し、継続的に適切な医療を提供する体制の必要性をご理解いただくため、緊急入院した患者さんやご家族に説明文書をお渡しすることといたしました。

今後も転院患者さんを受け入れていただく医療機関の皆様と、円滑に連携させていただきよう、心掛けてまいりますので、よろしく願いいたします。

#### 入院患者さん および ご家族へのお願い

当院は、尾張北部医療圏の地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携を深めつつ、救急医療、がん診療をはじめとした高度医療を提供する役割を担っています。入院医療が必要となった方をすみやかに受け入れるためには、日頃より病床の確保が必要であることから、入院患者さんへの退院支援や転院調整に力を入れています。

- 治療終了後に、ご自宅や施設など住み慣れた場所での生活にスムーズに移行できるよう、退院支援を担当する看護師や医療ソーシャルワーカーが早い段階より関わらせていただきます。
- 急性期治療が終了した時点で、さらに身体機能回復のためのリハビリが必要な場合や、退院後の療養環境の整備に時間を要する場合には、適切な病床機能を有する他の医療機関に転院していただく方針としております。

#### 【当院と連携実績のある医療機関】

小牧第一病院・小牧ようてい記念病院・さくら総合病院・岩倉病院・済衆館病院・千秋病院・春日井リハビリテーション病院・東海記念病院・あさひ病院・白山リハビリテーション病院・総合大山中央病院・犬山駅西病院 など

なお、転院先の候補となる医療機関は、ご容態や各病院の受け入れ体制等をふまえて、担当医もしくは医療ソーシャルワーカーよりご案内させていただきます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

小牧市民病院 院長

## ■ 生殖医療センターの新設

当院の不妊部門は新病院開院に併せ、生殖医療センターとしてリニューアルしました。一般不妊検査や一般不妊治療（タイミング療法、人工授精）から高度生殖医療（体外受精、顕微授精、凍結融解胚移植）まで対応しており、複数の女性医師を中心に、ご夫婦の状態やご要望に合わせた治療を提案しています。



顕微授精用顕微鏡



タイムラプスと培養器

### ■ 特徴

高度な技術を必要とする顕微授精の機器、受精卵をリアルタイムに観察できる培養器を導入しています。総合病院の利点を活かし、他の診療科と連携して治療を行っています。

### ■ 対象

#### ・若年性がん症例

医学的適応での未受精卵・胚や精子の凍結

#### ・射出精液に精子が認められない高度な男性不妊症例

手術により採取した精巣内精子を用いた顕微授精

※その他、幅広い症例に取り組んでいます。

### ■ 診療時間

平日午前 8 時30分～午後 3 時30分

### ■ 診療内容

#### 【一般不妊検査】

卵巣予備能検査（AMH）、ホルモン検査、クラミジア検査、子宮卵管造影検査、精液検査

#### 【一般不妊治療】

タイミング療法、人工授精

#### 【高度生殖医療（ART治療）】

体外受精（IVF）、顕微授精（ICSI）、レスキュー顕微授精、胚盤胞培養、精子・受精卵（胚）凍結、アシステッドハッチング、融解胚移植、医学的適応卵子凍結、男性不妊症



## ■ 地域連携意見交換会の発展的解消

---

地域連携意見交換会は、2015年の地域医療支援病院の承認に伴い、それまでの「小牧地域連携協議会（現小牧市民病院地域医療支援委員会）から派生する形で始まりました。

地域の先生方や当院の医師・コメディカルが率直な意見を話し合う場として継続してまいりましたが、小牧市民病院地域医療支援委員会の議論と重なることも増えたことから、改めて同委員会の中に意見交換の場を継承することといたしました。

意見交換の場は同委員会に移りましたが、「垣根なく話し合いができる場」というスタンスは変わりありませんので、これまでどおり、お気軽にご参加いただければ幸いです。

### 地域医療支援委員会とは

---

地域医療支援病院では、「かかりつけ医からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保のために必要な支援を行うよう、業務遂行状況について審議して病院の管理者に意見を述べるための委員会」を定期的で開催することが定められています。当院では、小牧市民病院地域医療支援委員会の名称で年4回（4、7、10、1月の第4木曜日）開催しています。

委員会では、地域連携の取り組みや医療統計を報告し、委員からご意見をいただいております。「緊急紹介専用ダイヤル」も同委員会での議論をきっかけに開設いたしました。

委員会には、近隣医師会の代表者、市町村の代表者、学識経験者、地域住民の代表者が出席されております。

## ■ 地域連携登録医総会

9月7日、「顔と顔が見える関係づくり」をテーマに地域連携登録医総会を開催させていただきました。例年に比べて医師の参加が多く、盛会のうちに終えることができました。懇親会では会場のいたるところで闊達な意見交換をする姿が見られました。

### 参加者134名

院外：医師44名、歯科医師6名、看護師7名、事務等9名

院内：医師25名、歯科医師2名、看護師15名、薬剤師1名、管理栄養士1名、事務等33名

### ■ 講演

- ・ 当院の新しい手術ロボット  
～da Vinci Xiシステム～  
上平 修（泌尿器科部長）
- ・ ハイブリット手術室について  
小川 恭弘（副院長 循環器内科部長）



### ■ 来年度に向けて

新病院となって初めての総会は不慣れな部分もあり、様々な点でご不便をおかけしたと感じています。特に「総会会場から懇親会場への切り替え」や、「面談を要望する医師との調整」の課題の改善が必要と考えております。

今後も実りある会を企画・運営できるよう努めてまいります。

■ 救急看護 認定看護師

北田 兼一郎 看護師長



近年、入院患者の状態が重篤化する前に異常に気付き、早期に治療介入することを目的とした院内迅速対応システム（Rapid Response System：以下RRS）を導入する施設が増加しています。RRSとは、急変患者が発生した際に多職種を招集する院内緊急コールシステム（以下コードブルー）とは異なり、専門の医療チームが早期介入することで、急変件数が減少し、患者の重症化予防にも効果的であることが報告されています。当院でも、今年度中の運用開始を予定しております。

私は、救急看護認定看護師として、医療の質・安全管理室と連携し、救急カートの統一やコードブルーの対応訓練、心肺蘇生法の教育を行っています。また、患者が心停止を起こす7～8時間前から何らかの前兆となる異常が出現し、特に呼吸症状の増悪所見を呈しているという報告があります。看護師は患者の異常の第一発見者となる可能性が高く、何か変という「気付き」と「評価（観察）に基づく報告」「適切な処置」が行えるかどうか、患者のその後を左右すると言えます。そのため、患者の異変に気付くためのフィジカルイグザミネーションやフィジカルアセスメント研修が重要となります。患者の状態変化に気付くための学習には、一定の観察項目のポイントと方法を知り、それをさらに実践形式（シミュレーション）で体験する方法をとっています。また、実践と振り返りを通してチームダイナミクスも学ぶ機会としています。

RRSの有用性は多くの文献で報告され、病院機能評価の項目や医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”の目標の1つとして掲げられています。今後、高齢化とともに複数の慢性疾患を抱える患者も増加し、さらに急変件数は増加すると考えられます。看護師は、患者の“いつもの状態”をよく観察し、パッと見た時に何か変と思う「気付き」を見逃さないことが患者安全の担保につながると考えます。患者観察のポイントと方法など、分からないことがあればご相談ください。

当院の認定看護師

2019年11月1日現在、当院では日本看護協会が定める認定看護師21分野のうち12分野18人が活動しています。その内訳は次のとおりです。

緩和ケア	1人	感染管理	2人	皮膚・排泄ケア	3人
がん化学療法看護	2人	がん性疼痛看護	2人	救急看護	1人
摂食・嚥下障害看護	1人	慢性呼吸器疾患看護	1人	集中ケア	1人
認知症看護	1人	脳卒中リハビリテーション看護	1人	手術看護	2人

## ■ 委員会・勉強会のご案内

1月23日（木）

第19回小牧市民病院地域医療支援委員会

場所：小牧市民病院 管理棟1階 講堂②

時間：午後2時～

1月30日（木）

緩和ケア系統講義

場所：小牧市民病院 管理棟1階 講堂

時間：午後6時～7時

演題：新規麻薬（タペンタドール・メサドン・ヒドロモルフォン）と  
既存麻薬（モルヒネ・オキシコドン・フェンタニル）の使い分け  
～事例を通して考える～

演者：渡邊 紘章（緩和ケア科部長医師）

平野 茂樹（薬局次長、緩和薬物療法認定薬剤師）

1月31日（金）

フットケア勉強会

場所：小牧市民病院 管理棟1階 講堂②

時間：午後6時～7時

演題：足をみる1, 2ステップ

演者：山本 洋一郎（フットケア外来 看護師）

2月16日（日）

2019年度 小牧市民病院 緩和ケア集合研修会

場所：小牧市民病院 管理棟1階 講堂

時間：午前8時30分～午後3時45分

※日時や場所、演題等は仮の予定であり、変更する場合がございます。

※掲載されている勉強会等のご案内は、1～2ヶ月前に送付させていただきます。

## ■ お問い合わせ先一覧

内 容	連絡先等
紹介予約	医療機関から予約を取得いただくほか、患者さん自身ご予約いただくことも可能です。円滑に診療させていただくためにも、事前予約にご協力ください。
	受付時間：平日 午前8時30分～午後7時、土曜日 午前9時～午後0時 電話：0568-76-1434 FAX：0568-74-4516
緊急紹介 (予約センター・救急外来)	緊急紹介依頼時には「緊急紹介専用ダイヤル」にて事前にご連絡ください。
	受付時間：24時間 365日 <b>緊急紹介専用ダイヤル：0568-76-4148</b> FAX：0568-74-4516（平日 午前8時30分～午後7時、土曜日 午前9時～午後0時） 0568-76-5000（上記以外の時間）
小牧市民病院地域医療 ネットワークシステム (地域連携・医療相談室)	貴院のインターネット端末から、当院の医師記録、検査結果、放射線画像および読影レポートなどを閲覧いただけます。お気軽にお問い合わせください。
	受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分 電話：0568-76-4131（内線2534）
開放型共同指導	入院した紹介患者さんの共同診療を希望される場合は、事前にご連絡ください。患者支援センター職員が病棟までご案内させていただきます。
	受付時間：平日 午前8時30分～午後7時、土曜日 午前9時～午後0時 電話：0568-76-1434
セカンドオピニオン外来 受診予約	完全予約制となりますので、事前にご連絡ください。基本料金は30分あたり10,000円（税別）、以降30分ごとに5,000円（税別）となります。
	受付時間：平日 午前8時30分～午後5時15分 電話：0568-76-1434 FAX：0568-74-4516
緩和ケア病棟入棟面談 外来予約	緩和ケア病棟に入棟を希望される患者さんは、事前に入棟面談外来を受診していただく必要があります。所定の様式にてお申し込みください。
	外来開設日：毎週火・水曜日 それぞれ午後2時・3時の2枠 受付時間：平日 午前8時30分～午後5時 電話：0568-76-1434 FAX：0568-74-4516